障害者就業･生活支援センター就業支援スキル向上研修
事前課題の提出について

標記研修について、前期研修の科目「支援の現状と課題Ⅰ」では、受講者からあらかじめ提出された討議テーマをもとに意見交換を行い、受講者各自が支援の現状を振り返るとともに今後の課題改善について考えることとしています。

つきましては、円滑な意見交換を図るため、以下の要領により事前課題の作成をお願いします。
当日は４名程度のグループに分かれて意見交換を実施します。

１　事前課題の内容

次ページ「事前資料への記載内容」を参考に、（様式）「支援の現状と課題Ⅰ」（Word）にご記入ください。

２　事前課題の持参

作成した課題は受講者に配布しますので、６部コピーのうえ、研修にご持参ください。１部は事務局にご提出ください。

※事前の提出は不要です。

３　その他

障害者就業・生活支援センター 就業支援スキル向上研修は、前期研修の講座で学んだことを実践期（約３か月間）の業務で活かし、後期研修で発表するという構成になっています。

今年度の実践期における課題は次の２つを予定しています。

①後期研修で実施するケーススタディの事例選定･作成
②前期研修等を踏まえ各自で実践期の取組課題を設定し、レポートを作成

詳細は前期研修時にお知らせいたします。

（お問い合わせ先）
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構　障害者職業総合センター
職業リハビリテーション部　人材育成企画課　地域人材育成係
TEL：043-297-9095　　FAX：043-297-9056　E-mail：stgrp@jeed.go.jp

事前資料への記載内容

（1）次のテーマから１つ選び、各センターでの現状や、課題となっている点を記載してください。

★活用されているツールや参考資料がありましたら添付してご提出ください。
★個別事例については、後期の「ケーススタディ」にて検討しますので、個別事例ではなく複数の事例に共通する一般的な課題をご記入ください。

【テーマ１】「障害別の就労支援の取組について」 （例） 〇発達障害者への就労支援（職務の選定、マッチングのための支援） 〇精神障害者への就労支援（アセスメントの技法や医療機関との関わり） 〇高次脳機能障害者の就労支援（各機関との連携）
【テーマ２】「関係機関との連携について」 （例） 〇地域レベルでの支援体制の構築・維持・活性化 〇就業･生活支援センターの地域における立ち位置・役割 〇関係機関との連携（障害者職業センター、医療機関、発達障害者支援センター等との連携） 〇障害福祉サービス事業所を利用している方の一般就労への移行
【テーマ３】「雇用促進・継続のための企業へのアプローチについて」 （例） 〇職場実習や求人情報の収集や企業へのアプローチの方法 〇職場実習や雇用企業に関する、地域の関係機関（ハローワーク、福祉サービス事業所等）との調整 〇雇用促進・雇用継続のための企業への支援 〇その他（商工会議所等との連携）
【テーマ４】「その他」 （例） 〇職場定着支援における工夫（対障害者、対事業主） 〇個別支援計画の必要性及びより良い活用方法 〇支援制度の活用 〇職業準備性の向上のための取組

（2）（1）の課題に対して、センターもしくは就業支援担当者として取り組んでいる内容・工夫を記載してください。

（3）（1）及び（2）について他の受講者と討議したい内容を記載してください。